港湾残置型枠ブロック〈プレキャストコンクリート製残置型枠工法〉

意匠登録番号:第1567042号

漁港の岸壁・物揚場等で機能保全や性能向上のために水中コンクリートによる「腹付け工」が実施されています。「プレキャストコンクリート製残置型枠工法」は、この腹付け工の標準工法として開発されました。
従来の鋼製型枠を本製品に置き換えて施工することで、施工効率と作業安全度の向上が期待できます。

一般社団法人 全日本漁港建設協会(漁港プレキャスト工法研究会)
「プレキャストコンクリート製残置型枠工法」準拠製品

●特長

1.日当たり施工量の増加
施工作業の標準化により工期が30%程度短縮できます。

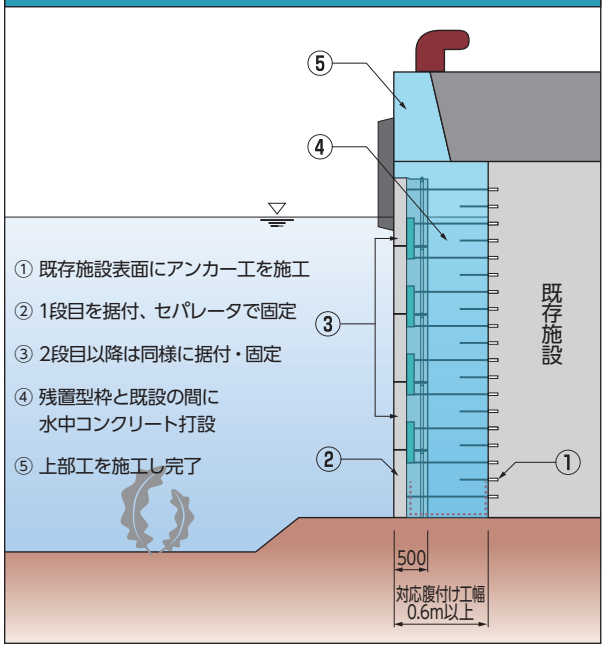
2.作業工程の合理化
陸上の整備スペースは不要。残置型枠は完成構造物の一部となり作業工程が合理化できます。

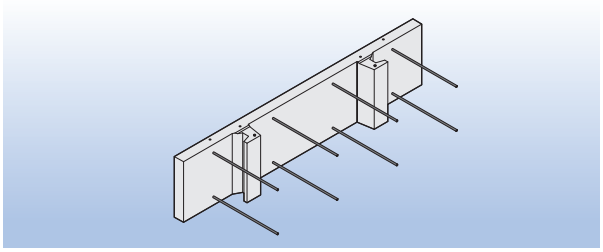
3.作業安全度の向上
残置型枠据付は水中の開放空間作業となり作業安全度を向上できます。

4.経済性の向上
腹付け工幅1.0m未満の施工が可能。段毎の据付により建設機械の所要規格が低減できます。

5.利用の合理化
泊地の減少面積が最少化できます。係留等の供用制限期間を短縮できます。

残置型枠工法の概要

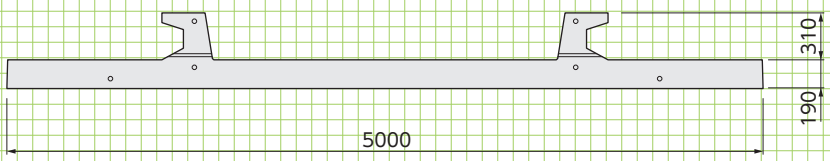




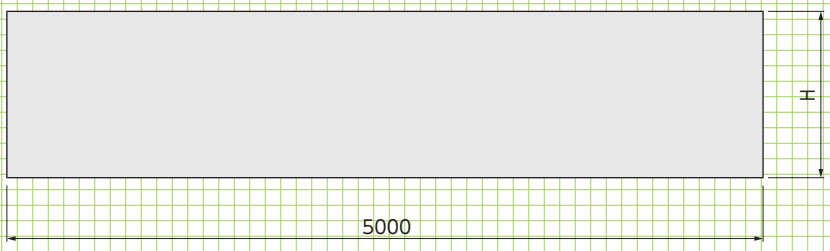
基本形状図

形状・寸法
重量表

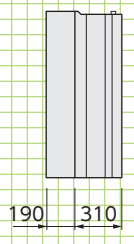
■平面図



■正面図



■側面図



■寸法・重量表

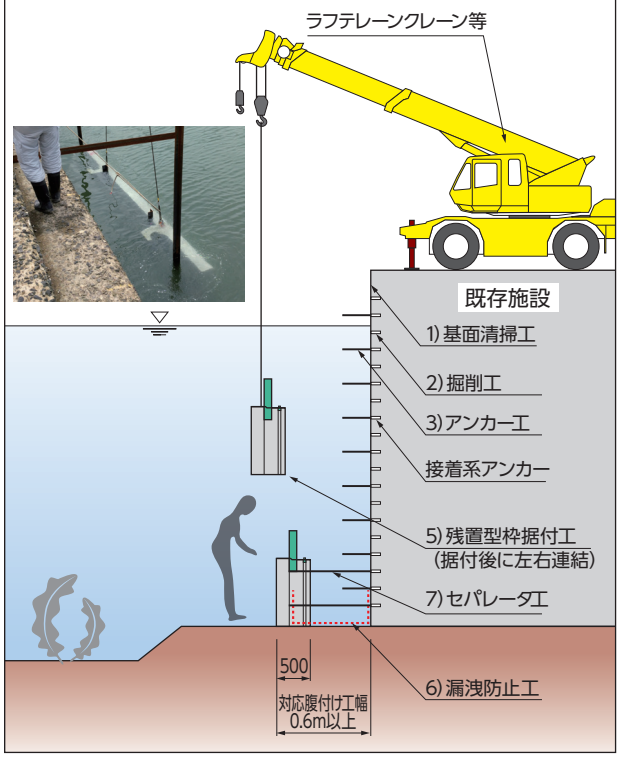
高さ H(mm)	参考重量 (kg)
800	1984
900	2235
1000	2484
1100	2734

L=4000、L=3000もございます。

施工手順

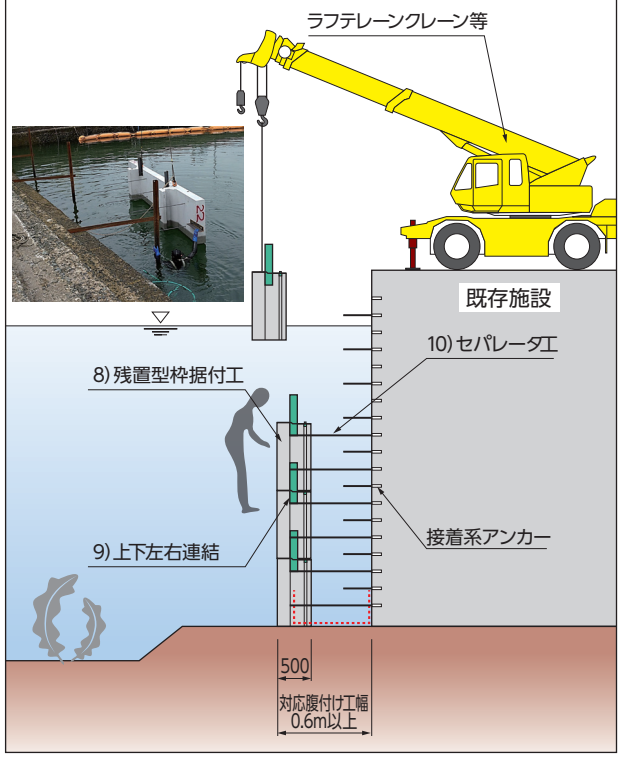
① 基礎部

・1段目は基礎となるため法線やレベル等を確認してください



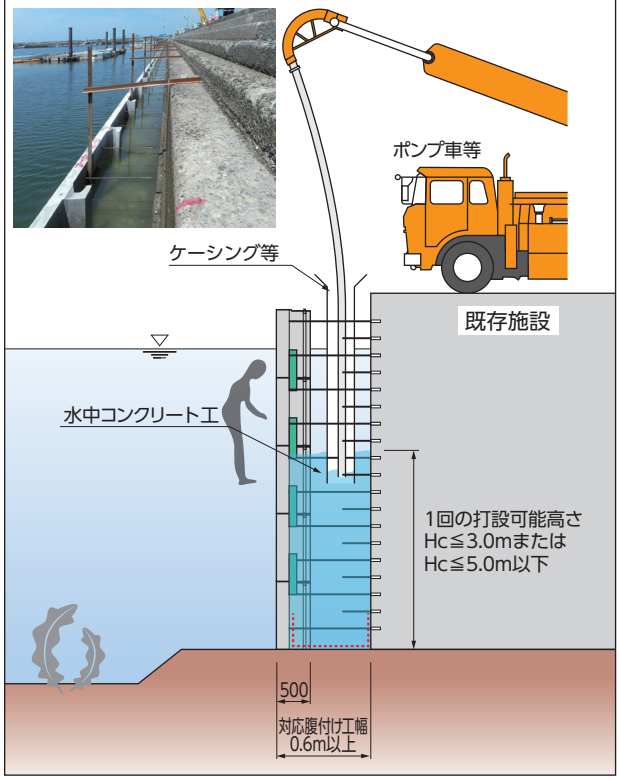
② 中間部

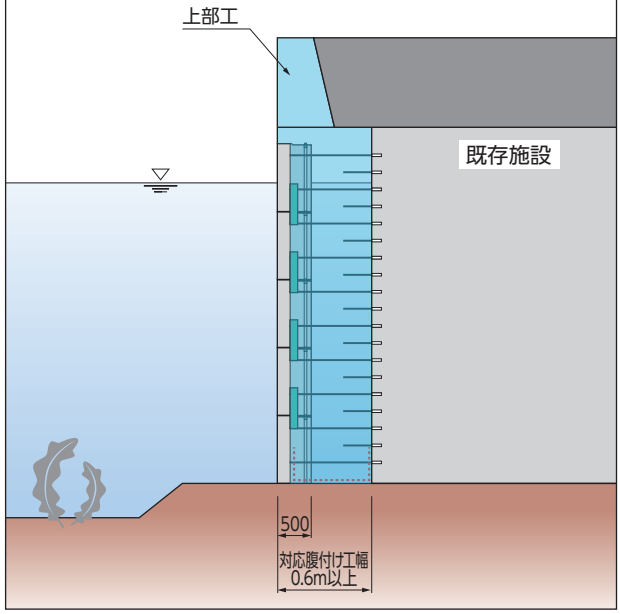
・8) ～10) の工程を所定の高さまで繰り返します。



③ 水中コンクリート工

・打継ぎ施工の場合は、残置型枠の据付段数を調整し適切な打継処理を行ってください。
・打継ぎ位置は残置型枠天端より10cmほど下げてください。



④ 完成

・上部工等を施工し完成します。